

10 様々な人権問題

個人情報の保護

現代社会では、様々な分野において大量の個人情報が保有され利用されていますが、これらの情報はプライバシー保護の観点から適正に利用されなければなりません。

行政機関だけではなく、事業所においても個人情報の適正な取扱いが求められています。

また、各個人それぞれも自己の個人情報を適切に管理し、他人に関わる個人情報を取り扱うときは、その権利利益を侵害しないようにする必要があります。

県民や事業者が個人情報の保護について理解を深め、適切な取扱いができるよう支援します。

刑を終えて出所した人

刑を終えて出所した人は本人に更生意欲があっても、本人やその家族に対する偏見や差別が根強く、特に就職や住居の確保などのときに差別されることが多く、社会復帰を困難にしています。周囲の人々が理解を深め、地域社会の一員として円滑な社会生活を営めるよう、刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見や差別をなくしていくことが大切です。

出所する高齢者や障害者のうち福祉的支援を必要とする人が地域で生活できるよう、地域生活定着支援センター※により支援を行います。

※地域生活定着支援センター

高齢または障害を有することにより、刑務所、少年刑務所、拘留所および少年院から出所・出院した後、自立した生活を営むことが困難と認められる者に対して、保護観察所と協働して、出所後直ちに福祉サービス等を利用できるようにするための支援を行う機関です。

性的マイノリティ

生物学的な性（からだの性）と性の自己意識（こころの性）とが一致しない性同一性障害者や、性的指向※に関して少数派である人々などに対する偏見や差別があります。こうした性的マイノリティ（性的少数者）に対する社会の関心と理解を深めることが必要です。

※性的指向

人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念をいいます。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛をさします。

様々な人権問題について正しい認識と理解を深めましょう！



ホームレス

「ホームレス」とは、公園、河川、道路、駅舎、その他の施設を故なく起居の場所として日常生活を営んでいる人をいいます。ホームレスになった理由としては、「仕事の減少」や「倒産、失業」などの仕事関係が多く、また健康状態については、十分な食べ物が得られず、多くの人々が体調不良を訴えています。

ホームレスのおかれている状況を理解し、社会復帰に向けた支援を行うことが必要です。

拉致被害者等

北朝鮮当局による日本人拉致は重大な人権侵害です。

解決のためには、拉致問題に対する世論を高め、国際社会と協力していくことが必要であり、国と連携し啓発活動を実施します。

アイヌの人々

アイヌ※の人々は、独自の文化を有していますが、近世以降のいわゆる同化政策などにより、今日ではその文化の十分な保存・伝承が図られているとは言い難い状況にあります。

アイヌの人々の民族としての誇りを尊重し、アイヌの人々に対する理解と認識を深める必要があります。

※「アイヌ」とは、アイヌ語で「カムイ」（神々、自然）に対する「人間」という意味です。平成20年（2008年）6月6日、衆参両院で「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が採択され、政府は、アイヌ政策の総合的な企画・立案・推進に取り組んでいます。また、アイヌの人々に対する理解が十分ではないため、就職や結婚などにおいて偏見や差別が依然として存在しているといわれています。